

報道関係者 各位

令和6年3月27日

【照会先】

職業安定局雇用政策課

労働市場情報整備推進企画室

室長

高田 崇司

システム連携専門官 渡部 愛

(代表電話)03(5253)1111 (内線 5185)

「job tag（職業情報提供サイト）」をリニューアルしました

厚生労働省は、このたび、job tag（(じょぶたぐ) 職業情報提供サイト）をリニューアルしました。

job tagとは、500を超える職業について、ジョブ、タスク、スキル等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動、人材育成等を支援するウェブサイトです。

年間のアクセス件数が2,000万件以上となっていますが、使い方動画を作成するなどにより、お仕事をお探しの方や企業の採用・人事担当の方、転職・就職を支援するキャリアコンサルタントの方など、より幅広い方に活用していただけるよう、リニューアルを行いました。

2024年3月27日(水)

年間2,000万件以上のアクセス※1がある「じよぶ たぐjob tag」 3月27日にリニューアルオープン

job tagの「使い方動画」や教育機関で活用できる「活用ガイド」の新規掲載など、
より使いやすくアップデート

※1 令和5年度現在の実績

厚生労働省は、このたび、職業情報提供サイト「job tag」※2を、進路・就職を考える学生等や、仕事をお探しの方、企業の人事・研修担当者、就職・転職を支援するキャリアコンサルタントなど、より幅広い方々に活用していただけるよう、2024年3月27日(水)にリニューアルしました。

※2 URL <https://shigoto.mhlw.go.jp>

5つの主なリニューアルポイント

【1】サイト機能を紹介する“使い方動画”を追加

- ・job tagの使い方が簡単にわかる
- ・各機能の紹介や対象者別の活用方法等を紹介

【3】“自己診断ツール”※3の機能がさらに充実

- ・職業適性テスト（Gテスト）に新たな項目が追加
- ・運動共応を測定するテストで、適職をさらに絞り込める

【2】“IT分野”の職業情報を拡充

- ・IT分野の職業の統計データに情報が追加
- ・ITスキルレベルごとのタスクや給与データを掲載

【4】新たな“職業”を追加

- ・職業の情報掲載を拡充
- ・「UX/UIデザイナー」、「アニメ制作進行管理」等、10職業が追加

【5】“教育現場”でも使いやすく

- ・キャリア教育等での活用方法や活用事例を紹介するガイドブックを掲載

機能の詳細は次ページ以降をご参照

※3 今回のリニューアルから、既存の「適職探索」は「自己診断ツール」へ名称が変更になりました

job tagとは？

厚生労働省が運営する「job tag」は、500を超える職業について、ジョブ、タスク、スキル等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動、人材育成等を支援するウェブサイトです。

就職活動においては、各種検査によって自身の適職を探索できるほか、就職・転職活動で重要な自己分析や、希望する職業の情報と自身のこれまでの経験等を照らし合わせることでアピールポイントを検討する、といったことに活用できます。

また、企業の採用活動においては、求める人物像の明確化、人材育成では、従業員のスキルの棚卸し等による教育や訓練の検討、人材配置の検討などにも活用できます。

さらに、キャリアコンサルティングにおいては、職業情報を参考にした客観的な助言や相談者がこれまでの職業経験で蓄積したスキル・知識の棚卸しや各種自己診断ツールの結果等をふまえた相談に活用できます。

主な機能

- ① 職業検索…気になるワードや分野などから職業の情報を検索できます
- ② 適職探索…各種検査ツールにより適職を探索できます
- ③ キャリア分析…データから自分の強みや弱みを分析でき、就きたい職業と比較ができます
- ④ 人材採用要件整理…求めている人材の人物像を明確にできます
- ⑤ 人材活用シミュレーション…現状の人材と将来あるべき人材の姿を比較し、人材育成を支援します

【その1】 サイト機能を紹介する“使い方動画”が追加

初めて利用される方でも迷うことなくjob tagを活用できるように、job tagの使い方動画を6種類掲載しました。それぞれの機能や、求職中の方、企業の方に向けたjob tagの活用方法を数分程度の動画でわかりやすく紹介しています。6動画は以下の通りです（タイトルの後ろは再生時間）

■ job tagの概要（5：22）

本サイトの全体の構成などを説明しています。自分に必要な機能を見つけられます。



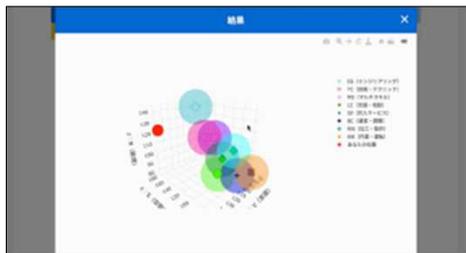
■ 職業情報の見方（5:37）

それぞれの職業について、仕事の内容、行うタスク、必要なスキルなどについて説明しています。



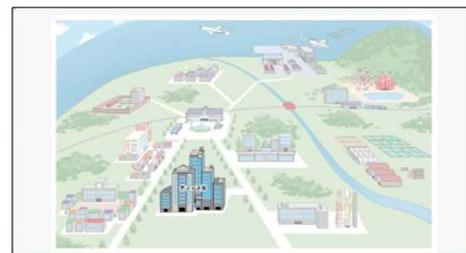
■ 自己診断ツールの使い方（7:07）

自分の興味・価値観や、能力的な特徴に関する検査から自身に合った職業を探ることができる「自己診断ツール」について説明しています。



■ 職業検索機能の使い方（3:52）

500を超える職業にアクセスするための、様々な検索方法について説明しています。



■ 求職中の方向けのjob tagの使い方（5:07）

求職中の方に役立つjob tagの機能について紹介しています。



■ 企業の方向けのjob tagの使い方（6:40）

企業での人材採用、育成に役立つjob tagの機能について紹介しています。



【その2】“IT分野”の職業情報を拡充

求職者のレベルに応じた仕事や給与水準の目安となるよう、IT系の各職業の職業情報ページに、ITスキルレベルごとのタスク情報やスキルレベル別の給与データ（年収）を追加しました。

■スキルレベル別賃金データの掲載例

スキルレベル別給与データ（年収）	
※厚生労働省が2023年度に実施した委託調査結果に基づき掲載（結果の概要はこちら）	
〈設計・構築〉	
ITSSレベル1~2	ITSSレベル3
420.0万円 ~ 620.0万円	450.0万円 ~ 700.0万円
ITSSレベル4	ITSSレベル5以上
500.0万円 ~ 780.0万円	600.0万円 ~ 950.0万円

【その3】“自己診断ツール”の機能がさらに充実

自身の能力的特徴から適職を検索できる「職業適性テスト（通称・Gテスト）」に新たなテスト項目が加わりました。既存の5種類の検査に加えて、運動共応※を測定する「検査K」が新たに追加されたことで、さらに適職を絞り込むことができます。

※眼と手・指を共応させて正しくコントロールする力

■新規検査の例題

検査K
見本と同じ位置に点を動かす検査

【やり方】

1. 上図の見本をみて、下図も同じ形になるように、頂点の灰色の○と●を正しい位置に動かします。
2. 黒い●は固定されているので、灰色の○と●だけを動かします。どれから始めても、何度動かしてもかまいません。
3. ほぼ正しい位置に動かすと、○や●の色が青色に変わり、位置が固定されます。その後、すぐに次の頂点へ移ってください。
4. 時間内にできる限り多くの問題を解くので、全部の頂点を正しい位置に置いたら、すぐに次の問題へ移ってください。
5. ◎は◎に、○は○の位置に動かしてください。◎に○を置いたり、○に◎を置いても、**正解にはなりません。**

【その4】新たな“職業”が追加

job tagでは500を超える職業の情報が掲載されていますが、今回新たに下記10職業の情報が追加され、より多くの職種を調べることができるようになりました。

- 造船技術者（船舶の開発・設計）
- バイオマス発電プラントの設計
- UX/UIデザイナー
- アニメ制作進行管理
- プロスポーツ運営団体職員（企画・運営）
- 訪問介護のサービス提供責任者
- 障害者グループホーム世話人
- 汎用金属工作機械工（旋盤工、ボール盤工等）
- 自動車板金塗装
- 配電盤・制御盤等組立



【その5】“教育現場”でも使いやすく

今回新たに、高等学校・専修学校・大学等のキャリア教育におけるjob tagの活用に向けたガイドブックを作成し、掲載しました。教育現場でのjob tagの効果的な使用方法や活用事例を紹介しています。



本プレスリリースに関するお問い合わせ先

厚生労働省職業安定局雇用政策課労働市場情報整備推進企画室

TEL : 03-5253-1111(内線:5185) / FAX : 03-3502-2278 / E-mail : jouhoukikaku23@mhlw.go.jp